

第 29 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会
プログラム・抄録集

会期：教育研修会 平成 23 年 2 月 10 日（木）
学 会 11 日（金）（祝日）
12 日（土）

主 催：大分大学医学部耳鼻咽喉科学講座
会長 鈴木 正志

会場：大分全日空ホテル オアシスタワー
〒870-0029 大分県大分市高砂町 2 番 48 号
TEL : 097-533-4411

ご挨拶

大分大学医学部耳鼻咽喉科学講座

会長 鈴木 正志

第29回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会を担当させていただくにあたり、本学会員の皆様に心より感謝申し上げます。この学会の前身であります日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会の第4回を、恩師の故茂木五郎教授（旧大分医科大学）が東京（新宿）で1986年に担当させていただいています。当時、私は大学院生2年でありましたが、この研究会で内耳免疫についての発表をさせていただきました。小さな会場でしたが、質疑応答が活発で答えに窮する恐怖がありつつも、温かい先輩方のご指導と自由闊達な雰囲気が耳鼻咽喉科領域を中心とする免疫アレルギー学の進歩に結びついている大変すばらしい学会と思っています。その学会を実に25年ぶりに私どもの教室で運営させていただくことになり、大変光栄でもあり、また身の引き締まる思いであります。もはや当時を知る医局員は私一人となっていましたが、教室員一丸となって本学会が盛会となるよう準備を進めて参りました。おかげさまで、100題を超える一般演題をお寄せいただきました。誠に有り難うございました。

さて、第1回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会の会長でありました奥田稔先生が会誌1号巻頭言の中で、本学会はこの分野で広く志を同じくする者が集まり演題につき思いきり討論する場でありたい旨、述べておられます。しかし演題数の増加に伴い、そのことがなかなか難しくなっているのも現実であります。そこで今回も昨年の藤枝会長が企画したプログラム形式を踏襲し、シンポジウムやワークショップ等は行わず、会員による一般演題が主役と位置づけました。口演会場は一つとして、プログラム委員の先生方により選ばれた39題を口演発表とさせていただき、口演時間を8分、質疑応答を4分と致しました。当初、どんなに小さな仕事であっても独創性のある世界に通じる演題には、もっと長い発表・討論時間を設定したいと思っておりましたが、総合的なスケジュールの関係でこのような時間になってしましましたこと、および時間の制約上優れた内容でありながらポスターに変更された演題が相当数ありましたことをお詫び申し上げます。

また、原因は様々あると思いますが、これまでの医療や医学教育政策が大き

く影響したことにより、医育機関や研究機関で働く耳鼻咽喉科医が大幅に減少する中で、黒野祐一理事長も述べていますように、耳鼻咽喉科における重要な分野の一つであるこの領域での、さらに多くの若手研究者の育成が急務であります。そこで今回、優れた演題を発表した35歳以下の筆頭演者を対象として若手研究者奨励賞を設けましたところ、この枠にも多くの演題をお寄せいただきました。審査員を悩ますぐらいのすばらしい発表内容と白熱した討論がなされることを期待しております。ささやかながら研究に夢が見られるような副賞をご用意致します。尚、本プログラム・抄録集の表紙は、夕日ではなく別府湾と高崎山が朝日に照らされている写真です。この領域の研究が益々朝日が昇る如く発展するよう祈念して掲載致しました。

時間には限りがありますので口演数を制限せざるを得ませんでしたが、一方で主催者にとりましてはできるだけ多くの皆様に参加していただきかなくてはなりません。そこで身近に演者と聴衆が話せることが魅力のポスター演題も募集致しました。ややもすると一題あたりの時間が短いのが難点でしたが、今回は四並列同時進行で行い、発表時間を6分、討論時間を4分と、これまでより長めに設定致しました。近い距離での熱い議論が沸騰することを願っています。

免疫学での最近の注目株として樹状細胞とNKT細胞があります。初日の教育講演では、これら細胞についての最新の研究内容について解説していただきます。樹状細胞については理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター生体防御研究チームの改正恒康先生にお願いしました。「核酸系免疫アジュバントに対する樹状細胞サブセットの応答機構」という題目で、核酸を中心とした外因性、内因性リガンドに対する樹状細胞応答を制御する分子機構についてお話しただけるものと思います。一方NKT細胞については、この細胞の発見者である、同じく理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター長の谷口克先生にお願いしております。「NKT細胞標的治療法とiPS技術の応用」という演題名で、NKT細胞の特徴とこれを標的とした種々疾患の治療応用についてお教えいただきたいと思っております。また、スポンサードレクチャーでは国立成育医療研究センター研究所副所長であります斎藤博久先生に、「上皮間葉系システムとアレルギー炎症」と題して、上皮間葉系サイトカインや気道炎症との関わりについてご講演いただきます。

祝日である二日目に特別講演を一つだけ企画しました。これまで免疫アレルギ一分野のお話を聞いていただくのが一般的であったと思いますが、今回は京

都産業大学益川塾教授・塾頭の益川敏英先生にご講演をお願い申し上げましたところ、快くお引き受けいただきました。ご存知のように益川先生は素粒子の理論で先駆的な役割を果たしたことが評価され、2008年のノーベル物理学賞を受賞されました。論文や学会発表での研究成果からだけでは読み取れない研究者にとって大切なことを、世界の頂点に到達したと言える他の分野の先生にお聞きするのも有意義ではないかと考えました。今回は議論が白熱する一般演題の合間に一度頭を真っ白にしてお聞きいただくと、何か新しい発見や閃き、あるいは参考になるものが大いにあるものと期待しています。ご演題名は「現代科学と社会」、果たしてどのような内容か興味津々です。

ランチョンセミナーは、北里大学臨床試験事業本部長、北里大学東病院治験管理センター長の熊谷雄治先生にインペアード・パフォーマンス低下を中心とした抗ヒスタミン薬の有害反応について、慈恵医大の千葉伸太郎先生と日本医大の後藤穣先生には、小児のアレルギー性鼻炎自体による睡眠と日中パフォーマンスへの影響、アレルギー性鼻炎のトピックスについてそれぞれお話をいただきます。東京都臨床医学総合研究所の廣井隆親先生にはスギ花粉症舌下免疫療法における治療効果を予測するバイオマーカーについてご講演いただきます。また、学会単独開催であるモーニングセミナーは、山形大学の太田伸男先生に囊胞性疾患に対する硬化療法について解説していただきます。

会期は真冬ですが、大分は晴れる日が多く空気も澄み、高崎山、鶴見岳、由布岳、別府の街並を背景とした美しい真っ青な別府湾がみられることと思います。その別府や隣の由布院だけではなく、実は会場のある大分市にもたくさんの温泉があります。またこの時期、とら河豚が最も美味しい季節でもあります。他にも関あじ、関さば、城下かれい、鱈、鳥天などなど、大分が誇る多くの食材をお待ちしております。学会二日目の金曜日は祝日です。多数の先生方のご参加をお願い申し上げますとともに、大分の地で多くの知識と思い出が得られることを心より願っております。

会場案内

大分全日空ホテルオアシスター

〒870-0029 大分県大分市高砂町 2-48

電話(097)533-4411 FAX(097)533-6140 URL: <http://www.oasistower.co.jp>



<JR 大分駅からのアクセス>

- タクシー乗車時間 約2~3分 (道路状況によって変わる場合がございます。)
- 徒歩 約8分

※JR 大分駅「北口」(1番ホーム側出口)よりお越しください。

<高速自動車道大分 IC からのアクセス>

九州横断自動車道大分 IC から市街地方面へ約7分

<大分空港からのアクセス>

空港特急バス エアライナー

○エアライナー → 徒歩

- 大分空港エアライナー乗り場発 → JR 大分駅前 → 徒歩

○エアライナー → タクシー

- 大分空港エアライナー乗り場発 → JR 大分駅前 → タクシー

※お問合せ: 大分交通 TEL:097-534-7455 <http://www.oitakotsu.co.jp>

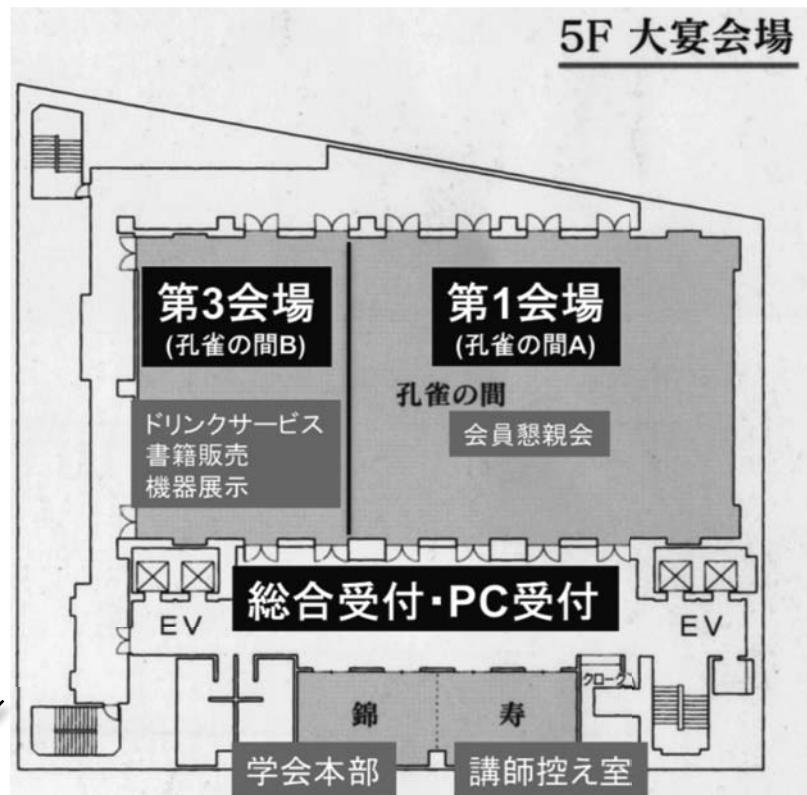
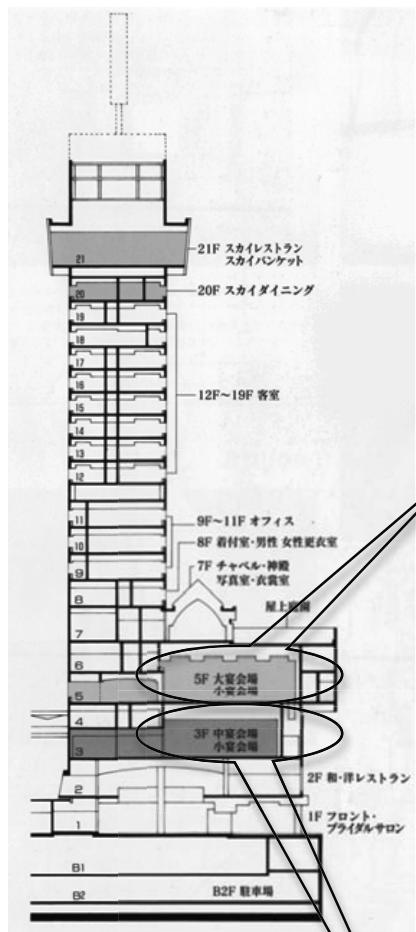
※エアライナー空港発⇒大分駅前着までの所要時間 約1時間8分

(道路状況によって時間が変わる場合がございます。)

※接続便によって発車時刻が異なります。また、交通状況によって所要時間が変わりますので



ご注意ください。



皆様へのお願いとお知らせ

【宿泊案内】

宿泊案内は学会ホームページ (<http://jiao.umin.jp/29th/>) にてご案内しています。

【参加者の皆様へ】

- 1) 参加受付は、5階 総合受付にて行います。総合受付にて参加費 10,000 円をお支払いのうえ、ネームカード兼領収証をお受け取りください。学会期間中、会場内ではネームカードを必ずご携帯ください。
- 2) ご来場のおり、本プログラム・抄録集をご持参ください。
- 3) 日本耳鼻咽喉科認定専門医のかたは、「学術集会参加報告票」とともに「専門医証（ID カード）」を必ずご持参くださいますようお願いいたします。参加受付の際に「学術集会参加報告票」の提出と「専門医証（ID カード）」のご提示をお願いすることになりました。総合受付にある「専門医証（ID カード）」受付にてお手続きください。
- 4) 会員懇親会を 2月 11 日（金）19:00 より、5階孔雀の間にて開催いたします。皆様ご参加ください。会員懇親会費は参加費に含まれます。
- 5) 演者および共同発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は至急入会手続きをお取りください。入会についてご不明の点は下記事務局にご連絡ください。なお、学会当日も総合受付にある学会事務局にて新入会手続きを行っております。

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入
中西印刷㈱NACOS 学会フォーラム内
Tel : 075-415-3661 Fax : 075-415-3662
E-mail : jiao@nacos.com

【演者の方へ 発表方法のご案内】

今学会での発表形式は下記 2 形式で行ないます。

それぞれご作成いただく発表資料や口演時間に違いがございますのでご注意ください。

なお、今学会では 2011 年 2 月 10 日の時点で 35 歳以下の演者の方を対象とした若手研究者奨励賞を設けましたが、発表方法は一般口演・ポスター発表と同じです。時間厳守をお願いします。

1. 口演発表者の皆様へ

口演は、Power Point による PC スライド一面のみとさせていただきます。

口演は第 1 会場で行ない、口演時間は 8 分間、質疑応答時間 4 分間です。

2. ポスター発表者の皆様へ

ポスターは下記の作成要領にそってお作りください。

ポスターディスカッションはポスター会場で行い、口演時間は 6 分間、質疑応答時間 4 分間です。

PCスライド作成要領

発表の際は演台に設置しております操作用キーパッドを使って、演者ご本人により操作をお願いいたします。オペレーターに操作を依頼希望の方は、PC受付での動作確認時にお伝えください。また、ご自身のPC本体をお持ちこみの場合は事前に事務局までご連絡ください。

- (1) 発表データの受付、パソコン持込の場合の出力のチェック/確認は全て5FのPC受付にて行います。発表に際してはWindows版PowerPointで準備下さい。USBフラッシュメモリー等のメディアでお持ち込みください。発表環境については後述を参照して下さい。必ず発表データを含んだ予備を持参してください。Macintoshでの発表を希望されるかたは、Macintosh PC本体をお持ちこみの場合のみとさせていただきます。
- (2) 発表の1時間前(8時30分からのセッションは30分前)までにPC受付にてオペレーター立ち会いのもと動作確認を行ってください。
- (3) 下記ルールに基づいたPC環境をご用意いたします。表現される画面の不具合についてはすべて演者の責任となりますのでご注意ください。
- (4) PC接続は外部出力端子がD-Sub-15pinです。PCの機種によっては外部出力端子がD-Sub-15pin以外のものがございますので、必ずD-Sub-15pinへの変換コネクターを各自ご持参ください。Macintosh PC本体をお持ちこみの場合は必ずD-Sub-15pinへの変換コネクターをご持参ください。
- (5) ご持参されるPCでの外部ディスプレー出力が可能であることを必ずご確認ください。また、バッテリーアクセスを防ぐために電源アダプターをご持参ください。
- (6) ご持参されるPCのスクリーンセーバー/省電力設定/パスワード設定は事前に解除して下さい。
- (7) 当方での発表環境について

[1] OS: Windows PC

[2] アプリケーション: PowerPoint 2003・2007・2010

[3] 発表に使用できるデータ

Windowsで作成したMicrosoft PowerPointファイルのみとします。画面サイズはXGA(1024×768)になります。

Mac版PowerPointやその他のアプリケーションで作成されたデータは、受け付けませんのでご注意ください。Mac版PowerPointで作成したファイルをWindows版のPowerPointに変換した場合、データが正確に表現できない場合があります。上記環境のPCですべての画面が不具合なく表現されることをあらかじめご確認のうえ、完成した形でお持ちください。Macintosh PC本体をお持ちこみの場合のみMac版PowerPointでの発表が可能です。

[4] フォント

文字化け防止のため、Windows(日本語版)に標準搭載されているフォントのみ使用可能です。

日本語: MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝の4種類のみ。

英語: Times New Roman、Arial、Arial Black、Arial Narrow、Century、Century Gothic、Courier、Courier New、Georgiaの9種類のみ

これ以外のフォントを使用した場合、正確に表現できない場合があります。

[5] データ容量

データの容量を、1GB（総量）までとさせていただきます。 容量が大きい場合は早めの受付をお願いします。

[6] 動画について

Windows Media Playerをご使用の場合のみ動画再生可能です。Power Point に動画をインサートし動作確認を行ったうえでお持ち込みください。Real Player や Quick Time 等、Windows Media Player 以外の動画ソフトはご使用になれません。

プレゼンテーションファイルと添付の動画データは同じフォルダ内に保存した状態でお持ち込み下さい。（別フォルダの場合、試写の際にリンクが外れて動画再生出来ない事があります）

PC 本体お持ち込みにてご発表の場合は、お持込みいただいた PC 環境、アプリケーションに依存いたします。

[7] 音声について

動画に音声がある場合、また、音声だけのファイルがある場合は、音声の再生が可能です。事前に PC 受付にて、専門の PC オペレーター立ち会いのもとご確認ください。

[8] メディアの持ち込み形式について

USB フラッシュメモリー、CD、DVD、ハードディスクのみの受付とさせていただきます。MO ディスク、スマートメディア、SD カード、メモリースティック、コンパクトフラッシュ等のメディアによる受付はいたしませんのでご注意ください。不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちいただきますようお願い申し上げます。

[9] データ名の統一について

持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ（完成版）以外のデータを入れないでください。また、データのファイル名には、演題番号に続けて発表者の氏名（漢字）、拡張子(.ppt/.pptx)を必ずつけてください。（例 O-1 免疫太郎.ppt）

ポスター作成要領

ポスターのボードの大きさは縦 210cm × 横 90cm を準備いたします。

ポスターサイズの目安は

タイトル、所属、演者名：縦 20cm × 横 70cm

発表内容：縦 190cm × 横 90cm 以内となります。

- (1) ポスターの掲示は、2月 10 日(木) 午後 1 時より 2 月 11 日(金)午前 10 時までの間に所定の演題番号が記載されたボードに掲示ください。ポスター会場前の受付にて掲示用ピンを受け取り、所定の時間内に所定の場所に掲示して下さい。
- (2) ポスターは 2 月 12 日(土)13 時 30 分から 14 時までの間に撤去して下さい。撤去の時間を過ぎても掲示してあるポスターは学会事務局にて処分いたします。

3. 司会・座長の先生方へ

- 1) セッション開始 10 分前に各会場へお越し下さい。
- 2) タイムテーブルに従って各セッションをお進め下さい。定刻通りの進行をお願い致します。

【関連会議】

理事 会	2月 10 日 (木) 10:00~13:00	第 2 会場 「紅梅の間」
評議員会	2月 10 日 (木) 13:30~14:30	第 2 会場 「紅梅の間」
総 会	2月 11 日 (金) 13:00~13:30	第 1 会場 「孔雀の間」

お問い合わせ先

第 29 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会運営事務局

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

大分大学医学部耳鼻咽喉科学講座

TEL : 097-586-5913 FAX : 097-549-0762

E-mail : jiao29@oita-u.ac.jp

【抄録用原稿提出のお願い（学会事務局からのお知らせ）】

口演／ポスター発表の皆様の演題は耳鼻咽喉科免疫アレルギー誌：29巻2号（J-STAGE オンラインジャーナルにて 2011 年 6 月 20 日公開予定）に掲載させて頂きます。該当される皆様におかれましては抄録原稿を、発表当日受付にご提出ください。なお、抄録の書式は本学会ホームページよりダウンロードできるよう準備しております。第 29 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会ホームページ (<http://jiao.umin.jp/29th/>) の「演者の方へ」ページ内「**抄録原稿の提出について**」にアクセスし、「**抄録ひな型**」および「**原稿作成要領**」ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードされた「**抄録ひな型**」ファイルに抄録を上書き入力し、原稿を作成してください。入力が終わりましたら電子媒体（フロッピーディスク、CD-R 等）に保存してご提出ください。

提出していただくものは以下のものです。

	プリントアウト	電子データ
本文	○	○
参考文献	○	○
図	○	(○)
表	○	○
写 真	○	(○)

※電子媒体については、フロッピーディスク、CD-ROM、MO のいずれでも結構ですが、電子媒体をそのままご提出いただける状態でお持ちください。USB フラッシュメモリーでのデータのお持ち込みはできません。

※電子媒体には必ずラベルを貼り、演題番号・著者名・使用したコンピュータの OS の種類（Windows XP/Vista/7, Mac OS 9/OS X など）・ソフト名とバージョン（Word 2002/2007 など）をご記入ください。

※図、写真については、作業効率を高めるため、できるだけ電子データをご用意ください。

抄録原稿提出についてのお問い合わせ先

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局（担当：石田恵奈美）

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株内

TEL: 075-441-3155 / FAX: 075-417-2050 / e-mail: jjiao-ed@nacos.com

第29回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表
平成23年2月10日(木)

	第1会場 5階 孔雀の間A	第2会場 3階 紅梅の間	第3会場 5階 孔雀の間B
8:00			
9:00			
10:00		旧理事会 10:00～11:00	
11:00		新旧合同理事会 11:00～12:00	
12:00		新理事会 12:00～13:00	
13:00			
14:00		評議員会 13:30～14:30	
15:00	教育講演1 15:00～16:00 核酸系免疫アジュバントに対する 樹状細胞サブセットの応答機構 座長:川内秀之 演者:改正恒康		ポスター掲示
16:00	教育講演2 16:00～17:00 NKT細胞標的治療法とiPS技術の応用 座長:清水猛史 演者:谷口 克		
17:00		グラクソ・スミスクライン国際交流基金贈呈授与式 17:15～17:25 グラクソ・スミスクライン国際交流基金帰国報告 17:25～17:50 座長:黒野祐一 演者:瀬嶋尊之	
18:00	スポンサーードレクチャー 17:50～18:50 上皮間葉系システムとアレルギー炎症 座長:岡本美孝 演者:斎藤博久		
19:00		スポンサーード懇親会 19:00～20:30	
20:00			
21:00			

第29回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表
平成23年2月11日(金)

	第1会場 5階 孔雀の間A	第2会場 3階 紅梅の間	第3会場 5階 孔雀の間B	第4会場 3階 雪の間	第5会場 3階 月の間	第6会場 3階 花の間
8:00						
9:00	開会の辞 8:20~8:30 若手口演1 アレルギー基礎(1) 8:30~9:30 O-1~O-5					
10:00	若手口演2 免疫応答・感染症 9:30~10:18 O-6~O-9				ポスター掲示	
11:00	若手口演3 腫瘍・症例 10:18~11:06 O-10~O-13					
12:00	一般口演1 アレルギー基礎(2) 11:06~11:54 O-14~O-17					
13:00	ランチョンセミナー1 12:00~13:00 抗ヒスタミン薬の有害反応 -インペアード・パフォーマンスを中心に- 座長:竹中 洋 演者:熊谷雄治	ランチョンセミナー2 12:00~13:00 小児のアレルギー性鼻炎による睡眠 と日中パフォーマンスへの影響 アレルギー性鼻炎診療のトピックス 座長:三輪高喜 演者:千葉伸太郎・後藤 穂				
14:00	総会 13:00~13:30				ポスター展示	
15:00	一般口演2 鼻副鼻腔(1) 13:30~14:30 O-18~O-22					
16:00	一般口演3 免疫応答・感染症・自己免疫疾患 14:30~15:30 O-23~O-27					
17:00			若手ポスター1 アレルギー性鼻炎 16:50~17:40 P-1~P-5	一般ポスター1 アレルギー基礎 16:50~17:40 P-10~P-14	一般ポスター3 スギ花粉症(1) 16:50~17:40 P-20~P-24	一般ポスター5 鼻副鼻腔(1) 16:50~17:40 P-30~P-34
18:00			若手ポスター2 鼻副鼻腔・腫瘍 17:40~18:20 P-6~P-9	一般ポスター2 睡眠障害 17:40~18:30 P-15~P-19	一般ポスター4 スギ花粉症(2) 17:40~18:30 P-25~P-29	一般ポスター6 鼻副鼻腔(2) 17:40~18:20 P-35~P-38
19:00	会員懇親会 19:00~21:00 若手研究者優秀口演賞表彰 若手研究者優秀ポスター賞表彰					
20:00						
21:00						

第29回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表
平成23年2月12日(土)

	第1会場 5階 孔雀の間A	第2会場 3階 紅梅の間	第3会場 5階 孔雀の間B	第4会場 3階 雪の間	第5会場 3階 月の間	第6会場 3階 花の間
7:00						
8:00		モーニングセミナー 7:30～8:20 囊胞性疾患に対する硬化療法 座長:今野昭義 演者:太田伸男				
9:00	一般口演4 腫瘍 8:30～9:18 O-28～O-31					
10:00	一般口演5 鼻副鼻腔(2) 9:18～9:54 O-32～O-34					
	一般口演6 鼻副鼻腔(3) 9:54～10:30 O-35～O-37					
	一般口演7 中耳・内耳基礎 10:30～10:54 O-38～O-39					
11:00			一般ポスター7 アレルギー疫学 11:00～12:10 P-39～P-45	一般ポスター8 腫瘍 11:00～12:10 P-46～P-52	一般ポスター9 アレルギー性鼻炎 治療 11:00～12:00 P-53～P-58	一般ポスター10 耳 11:00～11:30 P-59～P-61
12:00						一般ポスター11 咽喉頭 11:30～12:10 P-62～P-65
13:00	ランチョンセミナー3 12:20～13:20 スギ花粉症舌下免疫療法における 治療効果を予測するバイオマーカーの検索 座長:増山敬祐 演者:廣井隆親 閉会の辞 13:20～13:30					
14:00						
15:00						
16:00						
17:00						
18:00						
19:00						
20:00						
21:00						

第 29 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

(および教育研修会) 演題予定

教育研修会・教育講演 1 第 1 会場

2月 10 日 (木) 15:00～16:00

「核酸系免疫アジュバントに対する樹状細胞サブセットの応答機構」

　演者：改正恒康（理化学研究所 免疫・アレルギー科学

　総合研究センター生体防御研究チーム）

　座長：川内秀之（島根大学）

教育研修会・教育講演 2 第 1 会場

2月 10 日 (木) 16:00～17:00

「NKT 細胞標的治療法と iPS 技術の応用」

　演者：谷口 克（理化学研究所 免疫・アレルギー科学

　総合研究センター長）

　座長：清水猛史（滋賀医科大学）

国際交流基金 贈呈授与式 第 1 会場

2月 10 日 (木) 17:15～17:25

国際交流基金 帰国報告会 第 1 会場

2月 10 日 (木) 17:25～17:50

「慢性副鼻腔炎における線溶因子の発現」

　演者：瀬嶋尊之（自治医科大学）

　座長：黒野祐一（日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会理事長）

スポンサードレクチャー 第1会場

2月 10 日 (木) 17:50～18:50

「上皮間葉系システムとアレルギー炎症」

演者：斎藤博久（国立成育医療研究センター研究所副所長、
免疫アレルギー研究部部長）

座長：岡本美孝（千葉大学）

ランチョンセミナー1 第1会場

2月 11 日 (金) 12:00～13:00

「抗ヒスタミン薬の有害反応—インペアード・パフォーマンスを中心に—」

演者：熊谷雄治（北里大学臨床試験事業本部長、
北里大学東病院治験管理センター長）

座長：竹中 洋（大阪医科大学）

ランチョンセミナー2 第2会場

2月 11 日 (金) 12:00～13:00

「小児のアレルギー性鼻炎による睡眠と日中パフォーマンスへの影響」

演者：千葉伸太郎（スタンフォード大学、東京慈恵会医科大学）

「アレルギー性鼻炎診療のトピックス」

演者：後藤 穂（日本医科大学）

座長：三輪高喜（金沢医科大学）

特別講演 第1会場

2月 11 日 (金) 15:40～16:40

「現代科学と社会」

演者：益川敏英（京都産業大学益川塾教授・塾頭）

座長：黒野祐一（鹿児島大学）

モーニングセミナー 第2会場

2月 12 日 (土) 7:30～8:20

「嚢胞性疾患に対する硬化療法」

演者：太田伸男（山形大学）

座長：今野昭義（南東北病院）

ランチョンセミナー3 第1会場

2月 12 日 (土) 12:20～13:20

「スギ花粉症舌下免疫療法における治療効果を予測する

バイオマーカーの検索」

演者：廣井隆親（東京都臨床医学総合研究所

花粉症プロジェクト副参事研究員）

座長：増山敬祐（山梨大学）

若手口演

2月11日(金) 8:30-9:30 アレルギー基礎(1) 第1会場

荻野 敏(大阪大学), 友田幸一(関西医科大学)

0-1 スギ花粉症に関する鼻上皮細胞の網羅的遺伝子解析

意元 義政^{1,2}、藤枝 重治¹

¹福井大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学

²筑波大学大学院人間総合科学研究科生命システム医学専攻遺伝医学分野

0-2 アレルギー病態惹起における長期生存型抗体産生細胞の形成機構の解明

稻嶺 純子、堀口 茂俊、米倉 修二、櫻井 大樹、岡本 美孝

千葉大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科教室

0-3 ヒト樹状細胞のスギ花粉に対する反応性～患者と健常者での比較～

田中 翔太、近松 一朗、山西 貴大、増山 敬祐

山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

0-4 アレルギー性炎症によるラット鼻粘膜上皮の粘液産生と

好酸球・好中球浸潤に対するヘパリンの抑制作用

小河 孝夫、清水 志乃、戸嶋 一郎、神前 英明、清水 猛史

滋賀医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-5 アレルギー性鼻炎におけるIL-17A発現とその臨床的意義

金井 健吾^{1,2}、岡野 光博¹、牧原 靖一郎¹、檜垣 貴哉¹、

假谷 伸¹、野田 洋平¹、西崎 和則¹

¹岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

²香川県立中央病院 耳鼻咽喉科

2月11日(金) 9:30-10:18 免疫応答・感染症 第1会場
石戸谷淳一(横浜市立大学市民総合医療センター), 春名眞一(獨協医科大学)

0-6 NKT細胞によって誘導される上気道粘膜免疫

梅本 真吾、児玉 悟、野田 謙二、鈴木 正志
大分大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-7 インフルエンザ感染者の鼻腔 IgA 抗体と血清 IgG 抗体の感染後の経時変化

藤本 知佐¹、木戸 博²、山口 美代子²、松永 敦³、
澤田 亜也子³、田中 健⁴、武田 憲昭¹

¹徳島大学大学院 医科学教育部 耳鼻咽喉科学

²徳島大学 疾患酵素学研究センター 応用酵素・疾患代謝部門

³大北メディカルクリニック (大阪府)

⁴三野田中病院 (徳島県)

0-8 Moraxella catarrhalis 由来中耳炎モデルでの早期免疫誘導の解析

川野 利明¹、平野 隆¹、三井 孝広²、Kamruddin Ahmed²、
西園 晃²、鈴木 正志¹

¹大分大学 医学部 耳鼻咽喉科

²大分大学 医学部 微生物学講座

0-9 慢性鼻副鼻腔炎における真菌感作率の検討

松本 淳也、岡野 光博、檜垣 貴哉、牧原 靖一郎、西崎 和則
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

2月11日(金) 10:18-11:06 腫瘍・症例 第1会場
池田勝久(順天堂大学), 吉崎智一(金沢大学)

0-10 鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるCD70の発現 ~第2報~

吉野 和美、岸部 幹、片山 昭公、長門 利純、高原 幹、原渕 保明
旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

0-11 頭頸部癌における TLR2 の発現と分子生物学的機能解析

能美 希、児玉 悟、鈴木 正志

大分大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-12 声帯ポリープにおける Periostin の発現についての検討

八鍬 修一、太田 伸男、石田 晃弘、青柳 優

山形大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科

0-13 アレルギー性鼻炎の症状・QOL スコアにおける

Clinical Important Difference の検討

檜垣 貴哉¹、岡野 光博¹、牧原 靖一郎¹、假谷 伸¹、

春名 威範²、金井 健吾³、山本 美紀¹、西崎 和則¹

¹岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

²国立病院機構 岩国医療センター 耳鼻咽喉科

³香川県立中央病院 耳鼻咽喉科

一般口演

2月11日(金) 11:06-11:54 アレルギー基礎(2)

第1会場

藤枝重治(福井大学), 岡野光博(岡山大学)

0-14 ヒト鼻粘膜における第三のシスティニルロイコトリエン受容体

—P2Y12受容体の発現と局在

白崎 英明、才川 悅子、氷見 徹夫

札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-15 空中アレルゲンは ATP を介して IL-33 を放出させ、

Th2 タイプの自然免疫反応を引き起こす

神前 英明¹、紀太 博仁²、清水 猛史¹

¹滋賀医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

²メイヨークリニック

0-16 アレルギー性鼻炎における末梢血単核細胞の
抗原特異的 IL-31 産生とその臨床的特徴

岡野 光博¹、檜垣 貴哉¹、牧原 靖一郎¹、

春名 威範²、金井 健吾³、西崎 和則¹

¹岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

²国立病院機構 岩国医療センター 耳鼻咽喉科

³香川県立中央病院 耳鼻咽喉科

0-17 喉頭粘膜由来線維芽細胞からの TSLP 産生と B type CpG-DNA によるその制御

山田 武千代、齋藤 寛、木村 有一、窪 誠太、伊藤 有未、

鈴木 弟、扇 和弘、山本 英之、坂下 雅文、藤枝 重治

福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2月11日(金) 13:30-14:30 鼻副鼻腔(1) 第1会場

洲崎春海(昭和大学), 山下裕司(山口大学)

0-18 ヒト鼻粘膜における寒冷受容体TRPM8の発現の検討

柴田 美雅、グエン カック ホン、若杉 哲郎、鈴木 秀明

産業医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-19 鼻疾患における pendrin 及び periostin の過剰発現についての検討

石田 晃弘¹、太田 伸男¹、青柳 優¹、池田浩己²

¹山形大学 医学部 耳鼻咽喉科

²日赤和歌山医療センター

0-20 上気道炎症におけるリポキシンの役割

清水 志乃、星 恵理子、神前 英明、清水 猛史

滋賀医科大学 耳鼻咽喉科

0-21 鼻茸中の真菌および

黄色ブドウ球菌由来エンテロトキシン特異的 IgE 抗体の役割について

松脇 由典、大櫛 哲史、鴻 信義、森山 寛

東京慈恵会医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-22 鼻茸線維芽細胞の IL-17A 刺激に対するサイトカイン分泌

本間 博友、神谷 和作、池田 勝久

順天堂大学 耳鼻咽喉科学教室

2月11日(金) 14:30-15:30 免疫応答・感染症・自己免疫疾患 第1会場

武田憲昭(徳島大学), 原渕保明(旭川医科大学)

0-23 母体経鼻免疫による仔マウスの感染予防とそのメカニズムに関する研究

河野 正充、保富 宗城、戸川 彰久、池田 順彦、

榎野 敦子、田村 真司、山中 昇

和歌山県立医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-24 NKT 細胞と樹状細胞による上気道粘膜免疫応答の解析と経鼻ワクチンへの展開

野田 謙二、児玉 悟、梅本 真吾、鈴木 正志

大分大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-25 病巣扁桃の病態形成における Th17 の関与について

林 正樹、保富 宗城、河野 正充、戸川 彰久、田村 真司、山中 昇

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

0-26 耳鼻咽喉科領域における ANCA 関連血管炎症候群 :

PR3-ANCA 陽性症例と MPO-AMCA 陽性症例の臨床症状の差異

中丸 裕爾、高木 大、赤澤 茂、福田 諭

北海道大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野

0-27 ウエゲナー肉芽腫症におけるヒストン脱アセチル化酵素の役割

高木 大、中丸 裕爾、赤澤 茂、福田 諭

北海道大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科学分野

若手ポスター

2月11日(金) 16:50-17:40 アレルギー性鼻炎 第3会場

飯野ゆき子(自治医科大学附属さいたま医療センター)

P-1 Effect of Lipopolysaccharide(LPS) on murine allergic rhinitis model

at the eliciting phase

淵脇 貴史¹、青井 典明¹、森倉 一朗¹、

頓宮 美樹²、山田 高也²、川内 秀之¹

¹島根大学医学部耳鼻咽喉科

²島根大学総合科学研究支援センター実験動物分野

P-2 スギ花粉曝露実験室を用いたアレルギー性鼻炎に対する

フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻薬の有用性に関する研究

櫟原 崇宏¹、寺田 哲也¹、藤井 加奈子^{1,2}、河田 了¹

¹大阪医科大学 感覚器機能形態医学講座 耳鼻咽喉科学教室

²永聖会 松田病院

P-3 モメタゾンフランカルボン酸点鼻液のスギ花粉症患者を対象とした

初期療法の有用性に関するプラセボ対照二重盲検比較試験

牧原 靖一郎、岡野 光博、檜垣 貴哉、假谷 伸、野田 洋平、西崎 和則

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

P-4 スギ花粉症における舌下免疫療法の効果についての検討

-2 シーズン連続治療についての検討-

春名 威範¹、岡野 光博²、檜垣 貴哉²、牧原 靖一郎²、

金井 健吾³、假谷 伸²、西崎 和則²、堀口 茂俊⁴、岡本 美孝⁴

¹ 国立病院機構 岩国医療センター 耳鼻咽喉科

² 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

³ 香川県立中央病院 耳鼻咽喉科

⁴ 千葉大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

P-5 スギ花粉症に対する第2世代抗ヒスタミン薬の初期治療および

花粉飛散期の增量効果についての検討

清水 雅明、北村 剛一、大塚 康司、山口 太郎、鈴木 衛

東京医科大学 医学部 耳鼻咽喉科学講座

2月11日(金) 17:40-18:20 鼻副鼻腔・腫瘍 第3会場

竹内万彦(三重大学)

P-6 好酸球性副鼻腔炎の臨床像と組織中炎症細胞についての検討

馬場 信太郎、鈴川 佳吾、近藤 健二、山岨 達也

東京大学 耳鼻咽喉科

P-7 鼻茸におけるオステオポンチンの関与について

八木 清香、吉崎 智一

金沢大学 医薬保健研究域医学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-8 Activation induced cytidine deaminase (AID) の口腔癌における発現

中西 庸介、近藤 悟、脇坂 尚宏、吉崎 智一

金沢大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-9 鼻性 NK/T 細胞リンパ腫におけるケモカインの発現

長門 利純、岸部 幹、森合 重誉、吉野 和美、高原 幹、原渕 保明
旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

一般ポスター

2月11日(金) 16:50-17:40 アレルギー基礎 第4会場
渡辺建介(獨協医科大学越谷病院)

P-10 スギ花粉抗原特異的 IL-10 產生性誘導型制御性 T 細胞に関する検討

山西 貴大、近松 一朗、増山 敬祐
山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-11 エピナスチンの骨髓系樹状細胞機能調整作用

金井 憲一¹、古田 厚子²、三邊 武幸¹、洲崎 春海²
¹昭和大学藤が丘病院 耳鼻咽喉科
²昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

P-12 第2世代抗ヒスタミン薬のチオレドキシン産生増強作用

古田 厚子¹、浅野 和仁²、金井 憲一³、洲崎 春海¹
¹昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室
²昭和大学 保健医療学部 生理学研究室
³昭和大学 藤が丘病院 耳鼻咽喉科

P-13 塩酸ピロカルピンによる鼻粘膜上皮の物理的特性の変化

三輪 正人¹、廣瀬 壮¹、中島 規幸¹、阿部 実恵子¹、
渡辺 建介¹、三輪 真由美²
¹獨協医科大学 越谷病院 耳鼻咽喉科
²はりま坂耳鼻咽喉科・アレルギー科

P-14 気道上皮における charge barrier の病態による変化

三輪 正人、呉 松晃、小松 陽、村上 敦史、

池田 洋子、山口 晋太郎、渡辺 建介

獨協医科大学 越谷病院 耳鼻咽喉科

2月11日(金) 17:40-18:30 睡眠障害

第4会場

市村恵一(自治医科大学)

P-15 イネ科花粉飛散時期のアレルギー性鼻炎患者における

夜間睡眠障害と日常生活への影響

鈴木 祐輔^{1,2}、太田 伸男¹、大久保 公裕³、青柳 優¹

¹ 山形大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

² 山形大学 医学部 地域医療システム講座

³ 日本医科大学 耳鼻咽喉科

P-16 当院における閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者の鼻治療 (アレルギー性鼻炎)

大岡 久司¹、八木 正夫²、朝子 幹也¹、

河本 光平³、濱田 聰子⁴、友田 幸一¹

¹ 関西医科大学附属枚方病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科

² 医仁会武田総合病院 耳鼻咽喉科

³ 関西医科大学附属香里病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科

⁴ 男山病院 耳鼻咽喉科

P-17 小児のいびき・睡眠障害と気道アレルギー疾患

増田 佐和子¹、臼井 智子¹、太田 伸男²、石戸谷 淳一³、

岡野 光博⁴、松根 彰志⁵、堀口 茂俊⁶、川内 秀之⁷

¹ 国立病院機構 三重病院 耳鼻咽喉科

² 山形大学 耳鼻咽喉科

³ 横浜市立大学附属市民総合医療センター 耳鼻咽喉科

⁴ 岡山大学 耳鼻咽喉科

⁵ 鹿児島大学 耳鼻咽喉科

⁶ 千葉大学 耳鼻咽喉科

⁷ 島根大学 耳鼻咽喉科

P-18 スギ花粉症患者を対象とした睡眠障害に関する試験

松岡 伴和¹、宮田 政則¹、山西 貴大¹、高橋 吾郎²、

上條 篤¹、増山 敬祐¹

¹ 山梨大学 大学院 医学工学総合研究部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

² 浜松医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

P-19 アトピー性皮膚炎の労働生産性と日中の眠気～スギ花粉症合併の影響～

小柳 桃朱¹、塩崎 由梨¹、長野 拓三²、荻野 敏¹、有本 啓恵³、

入船 守弘³、岩田 伸子³、大川内 一郎³、菊守 寛³、瀬尾 律³、

竹田 真理子³、玉城 晶子³、馬場 謙治³、野瀬 道宏³

¹ 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

² 長野皮膚科医院

³ NPO 大阪アレルギー・健康支援機構(OHCASS)

2月11日(金) 16:50-17:40 スギ花粉症(1) 第5会場

大久保公裕(日本医科大学)

P-20 11月中旬の気温によるスギ花粉飛散開始日予想

湯田 厚司、宮本 由起子、竹内 万彦

三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

P-21 愛知県豊明市における過去28年間のスギ、ヒノキ科花粉飛散状況

伊藤 周史、内藤 健晴、堀部 智子、三村 英也、長島 圭士郎
藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

P-22 スギ花粉症に対する舌下免疫療法の臨床効果とバイオマーカーに関する検討

米倉 修二¹、藤村 孝志^{1,2}、堀口 茂俊¹、稻嶺 紗子¹、茶園 英明¹、
櫻井 大樹¹、花澤 豊行¹、岡本 美孝¹

¹千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

²理化学研究所

P-23 スギ・ヒノキ科花粉症における問診による

第2世代抗ヒスタミン薬の薬剤選択と患者満足度調査（第2報）

戸嶋 一郎、星 恵理子、小河 孝夫、柴山 将之、

瀬野 悟史、神前 英明、清水 猛史

滋賀医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

P-24 スギ花粉症患者における花粉飛散総数の違いによる症状日記とQOLへの影響

～皮下および舌下免疫療法と初期療法での検討～

宮本 由起子、湯田 厚司、竹内 万彦

三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

2月11日(金) 17:40-18:30 スギ花粉症(2) 第5会場

村上信五(名古屋市立大学)

P-25 スギ花粉症初期療法における第2世代抗ヒスタミン薬の投与法に関する検討

北村 剛一、大塚 康司、山口 太郎、清水 雅明、鈴木 衛

東京医科大学耳鼻咽喉科学講座

P-26 花粉症と咳嗽—プランルカスト水和物初期療法有用性3年間の検討—

完山 理咲¹、朝子 幹也¹、河本 光平³、濱田 聰子²、
大岡 久司¹、友田 幸一¹

¹関西医科大学 耳鼻咽喉科

²美杉会 男山病院 耳鼻咽喉科

³関西医科大学 香里病院 耳鼻咽喉科

P-27 初期療法におけるプランルカスト、

モメタゾンフランカルボン酸点鼻薬の併用効果

菅原 一真、御厨 剛史、橋本 誠、原 浩貴、山下 裕司
山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

P-28 スギ花粉症初期療法におけるエピナスチン塩酸塩の有効性の検討

安田 誠、浜 雄光、浅野 純志、西尾 健志、
崩拔 陽子、椋代 茂之、久 育男
京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

P-29 スギ花粉非飛散期における鼻誘発反応とプランルカスト前投与の効果

牧瀬 高穂、松根 彰志、黒野 祐一
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 先進治療科学専攻感覚器病学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

2月11日(金) 16:50-17:40 鼻副鼻腔(1) 第6会場

氷見徹夫(札幌医科大学)

P-30 肥厚性鼻炎鼻粘膜における上皮細胞増殖因子 erbB とタイト結合蛋白の発現

鈴木 秀明、Nguyen Khac Hung、柴田 美雅、若杉 哲郎、北村 拓朗
産業医科大学医学部耳鼻咽喉科

P-31 ヒト鼻茸における Aryl hydrocarbon receptor の発現

久保 和彦¹、村上 大輔²、小宗 静男²

¹千鳥橋病院 耳鼻咽喉科

²九州大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科

P-32 上顎洞血瘤腫の免疫組織学的検討

太田 伸男、八鍬 修一、石田 晃弘、鈴木 祐輔、青柳 優

山形大学 医学部 情報構造統御学講座 耳鼻咽喉頭頸部外科学

P-33 好酸球性と好中球性の慢性副鼻腔炎における細菌検査の比較

廣津 幹夫、小野 倫嗣、加瀬 香、楠 威志、池田 勝久

順天堂大学

P-34 気管支喘息を合併した慢性副鼻腔炎手術症例の検討

都築 建三、竹林 宏記、岡 秀樹、阪上 雅史

兵庫医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

2月11日(金) 17:40-18:20 鼻副鼻腔(2) 第6会場

平川勝洋(広島大学)

P-35 副鼻腔手術症例の検討 -喘息合併例について-

浜本 真一、兵 行義、原田 保

川崎医科大学 耳鼻咽喉科教室

P-36 好酸球性副鼻腔炎 嗅覚低下症例の検討

太田 康、山田 智佳子、滝沢 克己、坂田 阿希

日本赤十字社医療センター

P-37 慢性副鼻腔炎の術後予後因子の検討

浅香 力、本田 耕平、伊藤 永子、石川 和夫

秋田大学 大学院医学研究科 機能展開学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

P-38 当院における好酸球性副鼻腔炎症例の検討

松本 亮典、小川 晃弘、西川 奈見、宮武 智実
姫路聖マリア病院

一般口演

2月12日(土) 8:30-9:18 腫瘍

第1会場

原田 保(川崎医科大学)

0-28 頭頸部扁平上皮癌における癌抗原CSPG4の発現と抗原特異的免疫応答の誘導

坂倉 浩一¹、近松 一朗²

¹独立行政法人 国立病院機構 静岡医療センター 耳鼻咽喉科

²山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-29 頭頸部癌患者における骨髄由来抑制細胞の検討

櫻井 大樹、稻嶺 純子、岡本 美孝

千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

0-30 頭頸部扁平上皮癌患者の免疫抑制に及ぼす

myeloid-derived suppressor cell の役割

近松 一朗¹、坂倉 浩一²、山本 卓典¹、森山 元大¹、増山 敬祐¹

¹山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

²独立行政法人 国立病院機構 静岡医療センター 耳鼻咽喉科

0-31 頭頸部癌細胞株における転移とマイクロRNA200familyとの関係

玉川 俊次、Beder Levent、保富 宗城、田村 真司、山中 昇

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2月12日(土) 9:18-9:54 鼻副鼻腔(2)

第1会場

内藤健晴(藤田保健衛生大学)

0-32 鼻アレルギー患者における呼気中並びに鼻呼気中における

on-line 法による一酸化窒素 (NO) 濃度のモニタリングの有用性について

竹野 幸夫、野田 礼彰、石野 岳志、平川 勝洋

広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

0-33 花粉曝露室研究における第2世代抗ヒスタミン薬の効果

～薬剤の効力と速効性の検討

榎本 雅夫^{1,2}、畠田 猛真²、中原 啓²、赤澤 幸則²

¹NPO 日本健康増進支援機構

²りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 耳鼻咽喉科

0-34 スギ特異的舌下免疫療法の治療効果に相関するマーカー分子の検討 (2)

坂下 雅文¹、大澤 陽子²、高橋 昇³、窪 誠太¹、

山本 英之¹、山田 武千代¹、藤枝 重治¹

¹福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

²公立丹南病院

³福井総合病院

2月12日(土) 9:54-10:30 鼻副鼻腔(3)

第1会場

鈴木秀明(産業医科大学)

0-35 IgG4 関連疾患における鼻腔病変の検討

赤澤 茂、中丸 裕爾、高木 大、水町 貴嗣、福田 諭

北海道大学 大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野

0-36 好酸球性副鼻腔炎に対する手術症例の検討

高橋 宏尚、能田 淳平、暁 清文

愛媛大学 耳鼻咽喉科

0-37 好酸球性副鼻腔炎における1型アレルギー反応の関与とその意義

松根 彰志、吉福 孝介、原田 みづえ、

早水 佳子、大堀 純一郎、黒野 祐一

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

2月12日(土) 10:30-10:54

中耳・内耳基礎

第1会場

太田伸男(山形大学)

0-38 杯細胞化生におけるPI-3K/AKTシグナル伝達経路の関与

中村 善久¹、小森 正博²、鈴木 元彦¹、村上 信五¹

¹名古屋市立大学 医学部 耳鼻咽喉科

²高知大学 医学部 耳鼻咽喉科

0-39 真珠腫のCell Biology

坂田 謙

あまるめ耳鼻咽喉科クリニック

一般ポスター

2月12日(土) 11:00-12:10

アレルギー疫学

第3会場

林 達哉(旭川医科大学), 竹内裕美(鳥取大学)

P-39 鳥取大学医学部学生におけるMAST33を用いたアレルギー実態調査

森實 理恵、榎本 雅夫、竹内 裕美、福島 慶、北野 博也

鳥取大学医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

P-40 アレルギー性鼻炎における副鼻腔病変の検討

小野 倫嗣、本間 博友、楠 戒志、池田 勝久

順天堂大学 医学部附属 順天堂医院 耳鼻咽喉頭頸科

P-41 大学生におけるアレルギー疾患と QOL : 2008～2010 年の比較

塩崎 由梨、小柳 桃朱、荻野 敏
大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

P-42 スギ花粉飛散量の違いに注目したスギ花粉症患者の症状と QOL

兵 行義、濱本 真一、原田 保
川崎医科大学 耳鼻咽喉科

P-43 2010 年春季アレルギー性鼻炎患者に対する ARIA の分類に基づいた質問票調査

宮田 政則^{1,2}、松岡 伴和^{1,2}、大戸 武久²、小澤 仁²、島田 和哉²、
藤森 功²、堀内 博人²、渡部 一雄²、松崎 全成²、高橋 吾朗³、増山 敬祐^{1,2}

¹山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

²山梨環境アレルギー研究会

³浜松医科大学 耳鼻咽喉科

P-44 アレルギー性鼻炎におけるアレルウォッチ涙液 IgE の有用性

佐々木 豊
沼津市立病院

P-45 アレルギー性鼻炎患者における鼻汁 IgE の測定

福島 慶¹、竹内 裕美¹、森實 理恵¹、
北野 博也¹、畠田 猛真²、榎本 雅夫^{2,3}

¹鳥取大学 医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉頭頸部外科学分野

²りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 耳鼻咽喉科

³NPO 日本健康増進支援機構

2月12日(土) 11:00-12:10 腫瘍

第4会場

森 望(香川大学), 石川和夫(秋田大学)

P-46 口腔底(舌下)粘膜から投与するワクチンの免疫応答の特殊性

堀口 茂俊、黒崎 元良、米倉 修二、櫻井 大樹、茶薗 英明、岡本 美孝
千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

P-47 鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるmicroRNAの発現

岸部 幹、吉野 和美、長門 利純、高原 幹、片山 昭公、
林 達哉、原渕 保明
旭川医科大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-48 上咽頭癌におけるEBV-LMP1抗原提示能に関する基礎的研究

脇坂 尚宏、近藤 悟、中西 康介、吉崎 智一
金沢大学 附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-49 CD133陽性頭頸部癌細胞の薬剤感受性についての実験的検討

金谷 洋明、今野 渉、平林 秀樹、春名 真一
獨協医科大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科

P-50 CD133陽性頭頸部扁平上皮癌細胞における浸潤能の検討

今野 渉、金谷 洋明、平林 秀樹、春名 真一
獨協医科大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科

P-51 ヒト頸部脂肪組織における脂肪関連リンパ球集積の免疫化学染色による検討

茶薗 英明、米倉 修二、櫻井 大樹、堀口 茂俊、岡本 美孝
千葉大学 医学部 附属病院

P-52 頭頸部癌の診断・治療・予後評価におけるダブル腫瘍マーカー
(SCC Ag と CYFRA21-1) システムの有用性—10年間の検討—

川内 秀之、片岡 真吾、青井 典明、清水 保彦、
森倉 一朗、清水 加奈子、淵脇 貴史
島根大学 医学部 耳鼻咽喉科

2月12日(土) 11:00-12:00 アレルギー性鼻炎治療 第5会場
榎本雅夫(NPO 日本健康増進支援機構), 阪上雅史(兵庫医科大学)

P-53 一般臨床における鼻症状に対する治療方法の検討
唐木 将行、森 望
香川大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

P-54 通年性アレルギー性鼻炎に対する下鼻甲介手術の術後成績
竹林 宏記、都築 建三、岡 秀樹、阪上 雅史
兵庫医科大学病院耳鼻咽喉科

P-55 通年性鼻アレルギーに対するモンテルカスト追加投与の
自覚症状及びQOL改善効果
御厨 剛史、菅原 一真、橋本 誠、山下 裕司
山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

P-56 抗アレルギー薬内服中の患者を対象とした後発医薬品に関するアンケート調査
稻葉 健介¹、松原 篤²、西澤 尚徳²、新川 秀一²
¹弘前大学 医学部 医学研究科
²弘前大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科学講座

P-57 アレルギー性疾患を合併した慢性副鼻腔炎に対する
トシル酸スプラタスト、マクロライド併用療法の効果
横田 誠、中村 善久、鈴木 元彦、村上 信五
名古屋市立大学 医学部 耳鼻咽喉科

P-58 ステロイド長期使用に関する副作用調査

濱田 聰子¹、朝子 幹也¹、河本 光平²、大岡 久司¹、友田 幸一¹

¹関西医科大学 耳鼻咽喉科

²関西医科大学附属香里病院耳鼻咽喉科

2月12日(土) 11:00-11:30 耳

第6会場

西崎和則(岡山大学)

P-59 両側感音難聴と顔面神経麻痺をきたした MPO-ANCA 陽性例

神村 盛一郎、千田 いづみ、阿部 晃治、田村 公一、

宇高 二良、陣内 自治、武田 憲昭

徳島大学 耳鼻咽喉科

P-60 インフルエンザ菌位相変異による phosphorylcholine(PC) の中耳粘膜への影響

岩崎 太郎、平野 隆、児玉 悟、川野 利明、藤田 圭吾、鈴木 正志

大分大学 医学部 耳鼻咽喉科学講座

P-61 加齢マウスにおける蝸牛プロテオミクス解析

寺西 正明、中島 務

名古屋大学大学院医学系研究科 頭頸部・感覚器外科学耳鼻咽喉科

2月12日(土) 11:30-12:10 咽喉頭

第6会場

保富宗城(和歌山県立医科大学)

P-62 扁摘が有効であった自己炎症疾患 PFAPA 症候群例

中野 誠一¹、零 治彦¹、秋月 裕則²、岩崎 英隆²、七條 光市³、
生越 剛司³、渡邊 力³、中津 忠則³、武田 憲昭⁴

¹JA高知病院 耳鼻咽喉科

²徳島赤十字病院 耳鼻咽喉科

³徳島赤十字病院 小児科

⁴徳島大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

P-63 PFAPA 症候群の1症例

太田 伸男、鈴木 祐輔、八鍬 修一、石田 晃弘、青柳 優
山形大学 医学部 情報構造統御学講座 耳鼻咽喉頭頸部外科学

P-64 IgA腎症におけるAPRIL(A Proliferation-Inducing Ligand)の検討

高原 幹、吉野 和美、長門 利純、岸部 幹、林 達哉、原渕 保明
旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-65 喉頭蓋の変形を来たした再発性多発性軟骨炎の一例

前田 昌紀、本間 あや、愛宕 義浩、山田 和之、吉村 理
市立札幌病院 耳鼻咽喉科